JASDAQ

平成26年１月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年６月３日

上場会社名　　株式会社アマガサ　　上場取引所　大
コード番号　　3070　　ＵＲＬ　http://www.amagasa-co.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）天笠 竜蔵
問合せ先責任者　（役職名）経営企画室長　　（氏名）西山 泰敬　　ＴＥＬ　03-3871-0111

四半期報告書提出予定日　　平成25年６月11日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年１月期第１四半期の連結業績（平成25年２月１日～平成25年４月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年１月期第１四半期	1,688	10.1	51	△32.6	56	△29.6	32	△30.5
25年１月期第１四半期	1,533	5.8	76	92.9	80	106.4	46	156.3

（注）包括利益　　26年１月期第１四半期　　50百万円（△11.6%）　　25年１月期第１四半期　　56百万円（216.6%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年１月期第１四半期	17.53	－
25年１月期第１四半期	26.06	－

当社は、平成25年２月１日付で普通株式１株につき200株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年１月期第１四半期	5,921	1,838	31.0	986.55
25年１月期	5,417	1,817	33.5	975.55

（参考）自己資本　　26年１月期第１四半期　　1,838百万円　　25年１月期　　1,817百万円

当社は、平成25年２月１日付で普通株式１株につき200株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり純資産を算定しております。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年１月期	－	0.00	－	3,200.00	3,200.00
26年１月期	－				
26年１月期（予想）		0.00	－	16.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

当社は、平成25年２月１日付で普通株式１株につき200株の株式分割を行っております。なお、当該株式分割の効力発生日は平成25年２月１日としておりますので、平成25年１月期の期末配当金につきましては、株式分割前の株式数を基準に配当を実施いたしました。

３．平成26年１月期の連結業績予想（平成25年２月１日～平成26年１月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	3,243	6.5	127	△23.2	128	△23.9	73	△25.5	39.38
通期	6,556	6.6	300	△6.5	303	△6.7	174	△8.4	93.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有

（注）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	有
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	有
④　修正再表示	：	無

（注）詳細は、添付資料3ページ「（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年１月期１Ｑ	1,920,000株	25年１月期	1,920,000株
②　期末自己株式数	26年１月期１Ｑ	56,800株	25年１月期	56,800株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年１月期１Ｑ	1,863,200株	25年１月期１Ｑ	1,803,200株

当社は、平成25年２月１日付で普通株式１株につき200株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成しておりますが、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績は今後の事業環境、経済状況の変化等さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却に対する期待感から円安・株高が進行したほか、３月の全国百貨店売上が前年同月比3.9％増となり、３ヶ月連続してプラスになるなど回復の兆しがみられました。しかしながら、３月度の消費者物価指数(生鮮食品除く)が99.5となり、依然としてデフレ基調から脱却できていないほか、倒産件数に占める不況型倒産の割合が80％台の高水準となるなど、景気の回復基調は緩やかに推移しました。

当社が属する婦人靴業界におきましては、消費者の高い生活防衛意識に対応した、大手各社による安売り競争の長期化が見られました。

こうした環境のもと、当第１四半期連結累計期間において当社は、高付加価値商材の積極的な投入、適正価格の維持並びにイレギュラー商材の強化に注力いたしました。

卸売事業につきましては、アパレル・海外顧客向け販売並びに自社ＷＥＢ通販が計画を下回って推移したものの、百貨店及び通販顧客向け販売が堅調に推移したことなどから前年を上回る売上を確保することができました。小売事業においては店頭ニーズを反映したＭＤの徹底により、販売が計画を上回って推移しました。また、JELLY BEANS河原町ＯＰＡ店、ららぽーと横浜店並びに静岡パルコ店を移設リニューアルする一方、GinetteなんばＣＩＴＹ店、JELLY BEANSららぽーと柏の葉店、アトレ秋葉原店を出店したことにより４月30日現在の直営店舗数は23店舗となりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間につきましては、売上高1,688百万円(前年同期比10.1％増)となりましたが、品質管理及び小売事業強化のための増員や広告宣伝の強化等により販管費が増加したことから営業利益51百万円(同32.6％減)、経常利益56百万円(同29.6％減)、四半期純利益32百万円(同30.5％減)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第１四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、2,274百万円（前連結会計年度末は1,826百万円）となり、448百万円増加しました。主な理由は、売上債権の増加（807百万円から1,210百万円へ403百万円増）、商品在庫の増加（218百万円から430百万円へ212百万円増）及び現金及び預金の減少（784百万円から613百万円へ170百万円減）であります。

また、固定資産の残高は、3,646百万円（前連結会計年度末は3,591百万円）となり、55百万円増加しました。主な理由は、固定資産の取得による増加（68百万円増）、減価償却による減少（48百万円減）及び差入保証金の増加（23百万円増）であります。

(負債)

当第１四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,993百万円（前連結会計年度末は1,536百万円）となり、456百万円増加しました。主な理由は、仕入債務の増加（465百万円から871百万円へ406百万円増）、１年内返済予定の長期借入金の増加（815百万円から850百万円へ34百万円増）であります。

また、固定負債の残高は、2,090百万円（前連結会計年度末は2,063百万円）となり、26百万円増加しました。主な理由は、運転資金の調達による長期借入金の増加（1,834百万円から1,864百万円へ29百万円増）であります。

(純資産)

当第１四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,838百万円（前連結会計年度末は1,817百万円）となり、20百万円増加しました。主な理由は、四半期純利益の計上32百万円による増加、その他有価証券評価差額金の増加（10百万円から20百万円へ９百万円増）及び配当金の支払い29百万円による減少であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成25年３月12日に発表いたしました「平成25年１月期　決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載しております予想から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成25年２月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年１月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年４月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	784,896	613,936
受取手形及び売掛金	807,593	1,210,747
商品及び製品	218,153	430,678
その他	21,038	25,746
貸倒引当金	△5,600	△6,400
流動資産合計	1,826,082	2,274,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,586,931	1,609,610
土地	1,529,346	1,529,346
その他（純額）	141,377	143,412
有形固定資産合計	3,257,655	3,282,369
無形固定資産	89,811	87,728
投資その他の資産	244,288	276,893
固定資産合計	3,591,754	3,646,991
資産合計	5,417,836	5,921,701
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	465,594	871,861
1年内返済予定の長期借入金	815,307	850,272
未払法人税等	27,453	26,783
賞与引当金	－	19,146
返品調整引当金	5,400	8,100
その他	223,035	217,330
流動負債合計	1,536,790	1,993,492
固定負債		
長期借入金	1,834,938	1,864,763
退職給付引当金	90,743	93,654
その他	137,716	131,643
固定負債合計	2,063,397	2,090,060
負債合計	3,600,188	4,083,553

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年１月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年４月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	308,100	308,100
資本剰余金	230,600	230,600
利益剰余金	1,335,330	1,338,189
自己株式	△71,056	△71,056
株主資本合計	1,802,973	1,805,832
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,440	20,429
為替換算調整勘定	4,234	11,885
その他の包括利益累計額合計	14,674	32,315
純資産合計	1,817,647	1,838,147
負債純資産合計	5,417,836	5,921,701

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年４月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年４月30日）
売上高	1,533,257	1,688,278
売上原価	997,235	1,112,176
売上総利益	536,022	576,102
販売費及び一般管理費	459,949	524,839
営業利益	76,073	51,262
営業外収益		
仕入割引	11,126	12,312
その他	7,025	6,208
営業外収益合計	18,151	18,520
営業外費用		
支払利息	12,455	10,723
その他	1,384	2,481
営業外費用合計	13,839	13,205
経常利益	80,385	56,578
特別損失		
固定資産除却損	－	12
特別損失合計	－	12
税金等調整前四半期純利益	80,385	56,565
法人税等	33,392	23,895
少数株主損益調整前四半期純利益	46,993	32,670
四半期純利益	46,993	32,670

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年４月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年４月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	46,993	32,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,491	9,989
為替換算調整勘定	4,399	7,651
その他の包括利益合計	9,891	17,640
四半期包括利益	56,884	50,311
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,884	50,311
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。